

日本一美しい球場で、日本一野球のダイブ味を……

V3阪急ブレーブスの本拠地・西宮球場が西日本初の人工芝球場に衣替えしました。

目にも鮮やかなグリーンとオレンジのコントラスト、ダイナミックな野球の面白さがグーンとアップします。

西宮球場は昭和12年5月1日の開場です。単なる球場ではなく、種々の催物興行にも使用できる野球場として、それぞれの時代を反映した催物が開催されました。

その41年にわたる長い歴史の中には、一リーグ時代のブレーブスの活躍はもちろん、昭和28年にはナイターも完成、そのほか第1回リズム体操祭(昭和22年)、アメリカ博覧会(昭和25年)など、今もなお人々の心に残る行事が少なくありません。また近くには、阪急ブレーブスが昭和42年のパリーグ初優勝から、5回のパリーグ優勝を果たし昭和50年からは3年連続日本一という輝かしい歴史を刻み続けています。

球場始まって以来初の大改造で、見やすく、美しくなった西宮球場にご家族お揃いでお越し下さい。



西日本初の人工芝 色彩やかに甦る西宮球場

西宮球場のグラウンドは広さが約1万4千㎡。その内、内野部分は土のまま残し、残りの部分が2色の人工芝でおおわれました。外野及びダイヤモンドの回りはグリーン的人工芝、ウォーニングゾーン、ラッキーゾーン、フェウルグラウンドはオレンジ的人工芝です。

●人工芝ってどんなもの

人工芝の材質は塩化ビニリデン。といってもピンとくる方は少ないのでは…。釣糸に使われていると言ったらなるほどと思われるでしょう。水に強く、耐久性があり、雨にうたれてもみずみずしさを失いません。

では、どのようにして人工芝を敷くのでしょうか？

右の断面図をごらん下さい。外野などグリーンの部分为例にとると、碎石層の上にアスファルト舗装をし、合成ゴムのクッ

人工芝(グリーン)

